



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社
 コード番号 5476 URL http://www.koshuha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中尾 大輔 TEL 03-5687-6025
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,637	10.2	971	104.0	1,037	74.5	666	82.7
29年3月期第3四半期	26,887	△6.5	476	△57.2	594	△50.6	364	△55.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 807百万円 (61.7%) 29年3月期第3四半期 499百万円 (△40.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	45.48	—
29年3月期第3四半期	24.89	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	42,683	20,645	48.4	1,408.56
29年3月期	40,551	20,058	49.5	1,368.46

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 20,645百万円 29年3月期 20,058百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.1	1,000	48.9	1,100	31.5	770	11.9	52.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	14,687,617株	29年3月期	14,687,617株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	30,607株	29年3月期	29,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	14,657,581株	29年3月期3Q	14,658,404株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の連結業績予想について）

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 第3四半期決算概要	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出の持ち直しや設備投資の増加を背景に、引き続き緩やかな回復基調となりました。また、海外においても中国経済は安定し、その他の新興国においても緩やかな景気回復が続きました。

こうした中、需要は引続き堅調に推移している一方、原燃料市況の騰勢も強まっており、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高296億3千7百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益9億7千1百万円（前年同期比104.0%増）、経常利益10億3千7百万円（前年同期比74.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千6百万円（前年同期比82.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔特殊鋼〕

全体的に自動車向けの需要が堅調に推移したことに加え、エネルギー向けやハードディスクドライブ向けの需要も好調であったため売上数量が増加し、売上高は208億3千万円（前年同期比8.7%増）となりました。損益面では、原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加及び販売価格の改善等により、営業利益は4億2千6百万円（前年同期は6千万円の営業損失）となりました。

〔鉄〕

自動車向けに加え、精密機器用などの産業機械及び建設機械向けの旺盛な需要を反映して売上数量が増加し、売上高は72億3千6百万円（前年同期比18.0%増）となりました。損益面では、原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加及び販売価格の改善等により、営業利益は5億3千万円（前年同期比14.8%増）となりました。

〔金型・工具〕

自動車向け金型需要は堅調に推移したものの、売上高は15億7千1百万円（前年同期比1.8%減）となりました。また、売上構成の悪化やコストの上昇等により、営業利益は1千4百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加6千8百万円、たな卸資産の増加14億1千7百万円等による流動資産の増加3億1千1百万円、有形固定資産の増加16億6千1百万円及び投資その他の資産の増加1億5千万円等により426億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億3千1百万円増加しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の増加1億1千7百万円、電子記録債務の増加7億6百万円、短期借入金の増加2億6千5百万円、賞与引当金の減少3億2千6百万円、流動負債その他の増加2億1千5百万円等により220億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4千4百万円増加しました。

純資産合計は、期末配当の実施2億1千9百万円や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上6億6千6百万円等により206億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千6百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想を平成29年10月30日に公表いたしました予想から修正を行っております。また、平成30年3月期の期末配当につきましては、これまで未定とさせていただいておりましたが、当期の業績と財務状況の見通しを考慮し、1株15円00銭とさせていただきます。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正について」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	197	164
受取手形及び売掛金	7,572	7,640
製品	2,938	2,940
仕掛品	3,643	4,547
原材料及び貯蔵品	2,964	3,475
その他	1,946	804
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	19,251	19,563
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,321	6,862
土地	8,489	8,489
その他（純額）	4,628	5,748
有形固定資産合計	19,438	21,100
無形固定資産	79	87
投資その他の資産		
投資有価証券	1,036	1,191
その他	775	770
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	1,782	1,932
固定資産合計	21,299	23,119
資産合計	40,551	42,683

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,661	4,778
電子記録債務	2,337	3,043
短期借入金	4,713	4,978
未払法人税等	111	80
賞与引当金	466	140
営業外支払手形	535	844
廃棄物処理費用引当金	—	70
その他	1,872	2,087
流動負債合計	14,697	16,024
固定負債		
長期借入金	276	315
再評価に係る繰延税金負債	1,783	1,783
退職給付に係る負債	3,227	3,342
その他の引当金	68	79
その他	438	492
固定負債合計	5,795	6,013
負債合計	20,493	22,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,097	2,544
自己株式	△37	△38
株主資本合計	18,869	19,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	300
繰延ヘッジ損益	5	—
土地再評価差額金	1,360	1,360
退職給付に係る調整累計額	△371	△331
その他の包括利益累計額合計	1,189	1,329
純資産合計	20,058	20,645
負債純資産合計	40,551	42,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	26,887	29,637
売上原価	23,497	25,574
売上総利益	3,389	4,063
販売費及び一般管理費	2,913	3,091
営業利益	476	971
営業外収益		
受取配当金	47	60
受取賃貸料	54	56
受取保険金	43	1
その他	63	36
営業外収益合計	209	154
営業外費用		
支払利息	22	22
売上債権売却損	11	13
出向者人件費負担金	26	30
その他	29	22
営業外費用合計	91	88
経常利益	594	1,037
特別利益		
固定資産売却益	1	—
補助金収入	1	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産処分損	71	105
固定資産圧縮損	1	2
廃棄物処理費用引当金繰入額	—	70
特別損失合計	72	178
税金等調整前四半期純利益	524	860
法人税、住民税及び事業税	7	73
法人税等調整額	151	120
法人税等合計	159	193
四半期純利益	364	666
親会社株主に帰属する四半期純利益	364	666

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	364	666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	105
繰延ヘッジ損益	9	△5
退職給付に係る調整額	54	40
その他の包括利益合計	134	140
四半期包括利益	499	807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499	807
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（廃棄物処理費用引当金）

当社の連結子会社である高周波 casting 株式会社は、製造工程で発生した鑄鉄スラグ等を土地造成用再生材の原料として販売しておりましたが、販売先が事実上廃業状態になったことに加え、過年度に販売した鑄鉄スラグ等が残置されていることが判明し、当第3四半期連結累計期間において、この残置されていた鑄鉄スラグ等に関し処分することを決定しました。

これにより、この事実上廃業状態にある販売先に残置されていた鑄鉄スラグ等の処分に係る費用に備えるため、将来発生すると見込まれる金額を合理的に見積り計上しております。その結果、廃棄物処理費用引当金70百万円を流動負債に計上し、同額を廃棄物処理費用引当金繰入額として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,157	6,131	1,599	26,887	—	26,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	27	1	127	△127	—
計	19,256	6,158	1,600	27,015	△127	26,887
セグメント利益又は損失(△)	△60	461	74	476	—	476

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,830	7,236	1,571	29,637	—	29,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	26	3	148	△148	—
計	20,948	7,263	1,574	29,786	△148	29,637
セグメント利益	426	530	14	971	—	971

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 第3四半期決算概要

平成30年2月1日
日本高周波鋼業株式会社

平成30年3月期 第3四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績（累計）と通期予想

（単位：百万円、％）

摘要	当期 30年3月期 第3四半期	（対前年同期）		前年同期 29年3月期 第3四半期	通期予想 30年3月期
		増減額	増減率		
売上高	29,637	2,749	10.2%	26,887	40,000
営業利益	971	494	104.0%	476	1,000
経常利益	1,037	442	74.5%	594	1,100
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	666	301	82.7%	364	770
設備投資	2,883	1,544	115.5%	1,338	3,760
減価償却費	1,186	5	0.5%	1,181	1,620

2. セグメント別売上高・営業利益（累計）

【製品・サービス別】

（単位：百万円）

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	30年3月期第3四半期		29年3月期第3四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	20,830	426	19,157	△60	1,672	486
鋳鉄	7,236	530	6,131	461	1,105	68
金型・工具	1,571	14	1,599	74	△28	△59
計	29,637	971	26,887	476	2,749	494

【海外売上高】

（単位：百万円、％）

摘要	当 期		前年同期		（対前年同期）	
	30年3月期第3四半期		29年3月期第3四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	3,563	12.0%	3,123	11.6%	440	14.1%
その他の地域	208	0.7%	140	0.5%	67	48.2%
計	3,771	12.7%	3,263	12.1%	507	15.6%
連結売上高	29,637		26,887		2,749	10.2%

3. 経常利益増減益要因（前年同期比）

（単位：億円）

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 売上数量・構成改善	8	1. 原燃料コスト上昇	13
2. 販売価格改善	8		
3. コスト改善他	1		
計 (A)	17	計 (B)	13
		差引 (A)-(B)	4